

みんなのサロン

つばさ保育園の巻

おとうさん、あのね…



こいけ ももか ちゃん(5さい)

パパ、いつもおしごとしてる。
さんばつやさん★
ももかや、ママのかみきつて
くれるかわいくしてくれて
ありがとう❤️

おかあさん、あのね…



ふじかわ やまと くん(6さい)

ママのカレーおいしい。
あそんでくれるしやさしいで★
ドッチボールとかしてあそんで
くれる。
またドッチボールしてね❤️

生活支援 コーディネーターの部屋 Vol.3

私たちが
生活支援コーディネーターです



貴志 敏子



玉置 哲也

今回は、ドリーム農園を紹介します！

ドリーム農園は、藤田地区にある広大な畑を活用して、認知症の人や地域の人たちが交流しながら、自分たちが作りたい野菜などを作る「夢の詰まった農園」です。秋には大成幼稚園児たちとサツマイモ収穫を行い、多世代での交流ができました。



ドリーム農園の
インタビュー動画は
こちらからご覧ください



農作業をやってみたい人や色々な人と交流してみたい人、どなたでもご参加いただけます。ご興味のある方はお問い合わせください。

(介護福祉課 ☎07388・230・58851)

タイの花まるエッセイ

日本がハワイ文化に与えた影響その2

今回は玄関で靴を脱ぐことを紹介したので、今回は折り紙鶴について話したいと思います。

千羽鶴を折ったら願いが叶うという伝説は、日本では誰でも知っている伝説で、ハワイでも有名です。特に日系人の結婚式のために、金色の千羽鶴を折ることはよくあります。お店にはいろいろなデザインがあつて、その中から一つ選ぶと並べてもらえます。例えば、私の姉の結婚式では、千羽鶴で一つの丸を描いて、その丸の中に大きな鶴を作りました。兄の結婚式の写真があるので見てください。

他の人に千羽鶴を折ってもらったら意味がないから、新郎新婦はもちろん、その二人の家族が協力して千羽鶴を折ります。家族といっても、それは直接の家族だけじゃなくて、おばさんやおじさんやいとこまでも手伝ってくれます。折り紙鶴、特に金色の紙を使った折り紙鶴は折りにくいので、結婚式のための千羽鶴を折るのは普通なら長い時間がかかりますが、新郎新婦の両方の家族が手伝ってくれるので早くできます。完成した作品からみんなの気持ちが伝わってくるので、普通に作ったものより価値がある気がします。

